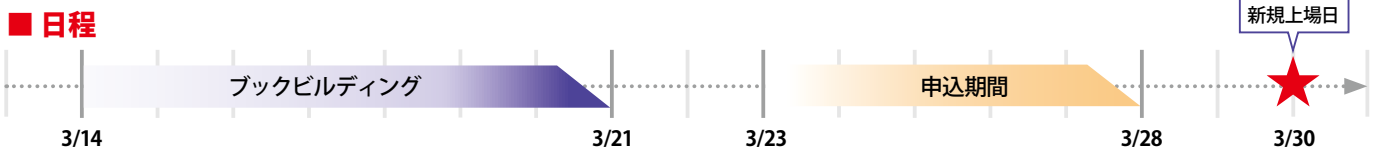


## IPO銘柄 ユーザーローカル (3984・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3984	100 株	公募：20.50 万株 売出：20.00 万株 (OA6.07 万株)	2,780 円～ 2,940 円 (42.1 倍)	大和証券



## ビッグデータの解析、AIによる情報提供サービス

### ■ 事業内容

ビッグデータを収集、解析するプラットフォームの提供を手掛ける。最近ではAI（人工知能）を使って、より高速、高精度の分析、データ活用ができるよう、システム強化を推進している。サービスには主に、ユーザーエクスペリエンスを測定するWeb解析ツールである「User Insight」、フェイスブック、ツイッター、YouTubeなどソーシャルメディアのマーケティング分析・管理ツールの「Social Insight」、ニュースサイトなどメディア運営に特化した記事コンテンツ分析ツールの「Media Insight」の3つがある。セグメントはデータ解析事業のみ。

### ■ 特徴

デジタルデータが爆発的に増えており、サイト制作者、マーケティング担当者にとっては情報の取捨選択が重要になっている。同社はデータ分析に時間を取られず、直観的に解決策を導き出せるような製品を提供している。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

17年6月期の非連結経常利益は前期比15.6%増の3億7,800万円を予想する。ビッグデータ、AI関連市場の盛り上がりに関連して需要が拡大している。直近で大幅な人員拡張も行っており、利益成長率は鈍いが、中期的な成長期待は大きくなっている。

### ■ 定性分析

ビッグデータ、AIという強力な相場テーマに乗る。新興市場らしいベンチャー企業であり、大人気となりそう。3月のIPOラッシュの最終盤の上場ではあるが、その分を考慮しても3月案件の最後の注目案件としてマークしておく必要があるだろう。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は13.7億円。特段の軽量感はないものの、強力テーマに乗って軽く吸収してしまいそう。ベンチャーキャピタル保有株はあるものの、社数が少ないことからすぐに市場に流出する可能性は低いとみる。(小泉健太)

### ■ 類似企業

ユーザーローカル(3984・マザーズ)	予想PER42.1倍 (仮条件上限)
テクノスジャパン(3666・東証1部)	予想PER51.4倍
ダブルスタンダード(3925・マザーズ)	予想PER51.8倍

### ■ 引受証券

大和証券、みずほ証券、SMBC日興証券、SBI証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年6月期(実績)	520	49.4	215	49.4	135	55.3	44.9	0.0
16年6月期(実績)	783	50.5	327	51.6	201	48.0	61.9	0.0
17年6月期(会社予想)	935	19.3	378	15.6	242	20.4	69.8	0.0

※ 16年1月に株式分割(1株→2,000株)を実施。15年6月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年6月期	1,625	751	622	146	191.6	82.8	32.1
16年6月期	3,413,100	1,231	1,035	252	303.5	84.1	24.2

※ 15年6月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	伊藤 将雄	2,638,900	71.19
2	YJ2号投資事業組合	280,000	7.55
3	渡邊 和行	247,700	6.68
4	三上 俊輔	101,700	2.74
5	クリムゾングループ	80,000	2.16
6	中村 賀一	66,200	1.79
7	イーストベンチャーズ2号投資事業 有限責任組合	53,100	1.43
8	八重樫 拓己	27,900	0.75
9	岩本 大輔	23,400	0.63
10	本郷 寛	21,700	0.59

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	伊藤 将雄
取締役 COOコーポレートセールス部長	渡邊 和行
取締役CFO管理部長	岩本 大輔
取締役	小澤 隆生
常勤監査役	渡辺 智美
監査役	中村 賀一
監査役	田中 裕幸

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。